

今日の主な活動：園庭遊び 劇遊び

<初雪に触れました>

本格的に冬に近づいてきました。子どもたちも雪が降って大喜び。外に出て雪に触りたい人と寒いから出たくない人にきっぱり分かれていましたが、いざ外に出てみると子どもも大人も寒さに震えながらも初積雪に触りに行きました。子どもたちは雪を探し、積もっている場所を見つけ、取り合いになりながらも協力して大はしゃぎで雪だるまを作りました。

一人が「走ったら寒くないよ!」と教えてくれたのでみんなで全カダッシュ! ほっぺが真っ赤な人や雪に触って手がキンキンに冷えてお互いに体を寄せ合って心も体も温めていましたよ。



雪のペニを塗っています

エゾオオカミ達は小屋で寒さをしのいでいます



<マフラー完成の次は…>

マフラー完成1人目! 年少の時から取り組んでいるので、編み目もとっても揃っています。エゾオオカミの劇で、絶対にモモンガ役をやると決めている彼女が次に取り掛かったのは、マフラー編みでのエゾモモンガのしっぽ作り。太くてふわふわのしっぽをどう表現しようか、大人と一緒に考え中です。



弓矢で撃つぞ〜

食べちゃうぞ〜



狩られちゃう…

<エゾオオカミ物語ごっこ>

エゾオオカミ物語の帽子を被って、なりきり遊び! 園庭を駆け回り、獲物を仕留めて食べる真似をしていました。アイヌの人はシカを弓で射止めようと、追いかけてごっこが始まっていました。年長の劇練習を見ているので、年少の子も真似してエゾオオカミごっこを楽しんでいます。